

すきなもの いっぱい

～すてきタイムで伝えよう～

小学校・1～2年生

I プログラムについて

- 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「人間の尊厳・価値の尊重」）
 =【人権感覚育成のための視点】
 自分の「好きなもの・こと」を絵に描き、認め合う活動を通して、自分及び全ての友達などをかけがえのない人間として尊重できるようにする。
- 2 関連する教科等について
 - 図画工作 A表現（1）イ（2）イ ※活動1
 B鑑賞（1）ア ※活動2、3
 - ☆「すきなものいっぱい」（開隆堂）
- 3 人権教育上の視点
 - （1）自分自身や友達を大切にしようとする。（価値・態度）
 - （2）相手の気持ちを想像したり、その立場に立って考えたりできる。（技能）

II アクティビティーについて

- 1 概要（3時間扱い）
 - 活動1（個人）（1／3）
 各自の「好きなもの・こと」を画用紙にたくさん描く。
 状況によっては、次の活動2の途中まで描く時間を確保する。
 - 活動2（全体）（2／3）
 ロールプレイを通して、友達の描いた「好きなもの・こと」を認め、共感したり、絵の表現の面白さや楽しさに気付いたりする「すてきタイム」について知る。
 - 活動3（ペアもしくはグループ）（3／3）本時
 活動2で学んだ「すてきタイム」をローテーションで行う。

2 準備するもの

- 画用紙
- クレヨンなどの描画材
- すてきカードまたは鑑賞カード
- すてきカード用のシール
- ロールプレイ用の作品
- 振り返りシート
- 「すてきタイム」の話型

3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「すきなものいっぱい」
 - ① 自分の「好きなもの・こと」を画用紙に描く。
- 活動2 「すてきタイムを知ろう」
 - ① 「すてき」の定義を知る。
 - ・ 友達の好きな「もの・こと」を知って、自分と友達との共通点や相違点を伝え合い、認め合う楽しさや喜びを味わう。
 - ・ 表現の面白さや楽しさに気付く（形や色等）。
 - ② 「すてきタイム」を知り、ロールプレイをする。
 - ・ 話型を用意し、実際に行う。
 - ・ 教師が用意したいくつかの作品の「すてき」を伝え合う。
- 活動3 「すてきタイムでやってみよう」（本時）
 - ① グループになり、ローテーションで「すてき」を伝え合う。
 - ② 「すてき」を伝えられて、どんな気持ちになったのか、全体で意見交流をする。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 教師が、友達の作品のよさを見付けられた児童を共感的に受け止め、友達だけでなく友達の「すてき」を見付けられた児童自身も「すてき」であることを言葉で伝える。児童が自信をもてるようにすることが大切である。
- 児童同士の共通点や相違点を言葉で伝え合い、認め合う楽しさや喜びを味わうことを大切にし、「すてきカード」や「鑑賞カード」への記入が目的とならないようにする。
- 児童が具体的かつ自信をもって「すてき」を伝えるために、話型を活用すると効果的である。
- 「すてきカード」や「鑑賞カード」は、学年や学級の実態に応じて使い分ける。
- 事前指導または事後指導として、「すてき週間」を設け、褒め合う機会をつくるとより効果的である。

III 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 児童の反応例 (C)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
5分	<p>1 アイスクレイキング 「おとなりさん すてきタイム」 T おとなりさんの「すてき」を20秒間でできるだけたくさん言ってみましょう。 T 言われてどんな気持ちになりましたか。 C うれしくなった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールの説明を簡潔に行う。 ・ 例として、担任が学級の「すてき」を挙げるのもよい。 ・ 「すてき」をたくさん見付けられるというよさを称賛する。
25分	<p>2 学習内容の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">すてきタイムでつたえよう</div> <p>3 グループによる絵の紹介 T 1人ずつ、絵に何を描いたのか紹介してください。 T 「自分もすき」と感じたときは赤色のシール、「形や色がすてき」と感じたときには青色のシールを貼りましょう。</p> <p>4 グループによる「すてきタイム」 T 1人ずつ絵の「すてき」を伝えていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の振り返りをする。 ・ 何を描いたのか、どんなところが気に入っているのかなど、絵に対する思いを伝えるように促す。 ◎ 友達の絵の紹介を聞き、共感した際には手元のすてきカードにシールを貼るよう指示する。(価値・態度) ◎ 話型を用意して、スムーズに「すてき」を伝え合い、互いを認め合う楽しさや喜びを味わえるように支援する。(技能)
	<p>5 振り返り T グループの人から、「すてき」を伝えられて、どんな気持ちになりましたか。 C 心があたたかくなった。 C もっと仲よくなれそうだった。 C 友達と同じものが好きだと分かってうれしかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚でも本時の振り返りができるように振り返りシートにすてきカードを貼らせる。 ・ 互いを認める楽しさや喜びを振り返ることができるように、振り返りシートに自分の考えを記入させる。 ・ すてきカードをもらった気持ちを学級全体で共有できるように、発表し合う時間を設ける。

IV 資料

(1) すてきカード

() さんへ

すてきポイント①
「じぶんも〇〇がすき！」と
かんじたらシールをはりましょう。

すてきポイント②
「このかたちやいろがすてき！」と
かんじたらシールをはりましょう。

() より

() さんへ

すてきポイント①
「じぶんも〇〇がすき！」と
かんじたらシールをはりましょう。

すてきポイント②
「このかたちやいろがすてき！」と
かんじたらシールをはりましょう。

() より

() さんへ

すてきポイント①
「じぶんも〇〇がすき！」と
かんじたらシールをはりましょう。

すてきポイント②
「このかたちやいろがすてき！」と
かんじたらシールをはりましょう。

() より

() さんへ

すてきポイント①
「じぶんも〇〇がすき！」と
かんじたらシールをはりましょう。

すてきポイント②
「このかたちやいろがすてき！」と
かんじたらシールをはりましょう。

() より

(2) 鑑賞カード

() さんへ

() より

() さんへ

() より

(3) 振り返りシート

ふりかえりカード

「すてき」をもらったよ！

()年()くみ 名まえ()

※もらったすてきカードをはりましょう。

すてきカードをもらってどんなきもちになりましたか。

(4) 「すてきタイム」の話型例

① ともだちの「すきなもの・こと」を きいたとき

- ・～がすきなんだね。どんなところがすきななの？
- ・なるほどね。そのきもち わかるよ。
- ・わたしも～がすきだよ。いっしょだね。

ともだちの めをみて はっきりとつたえましょう！

② ともだちがかいた えの 「すてき」を みつけたとき

- ・このいろは とてもきれいだね。
- ・かたちが とても かわいいね。
- ・このいろは、〇〇のイメージにぴったりだね。

かたち や いろに
ちゅうもくして、「すてき」
を みつけましょう！

(5) 授業風景のイメージ



自分の「すきなもの・こと」を、
画用紙に描いている様子



「すてきタイム」で伝え合う様子

たんていゲームでコバトンを見つけよう！

小学校・4～6年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「人間の尊厳・価値の尊重」）

＝【人権感覚育成のための視点】

自分が発信した情報により、個人が特定されたり、画像を勝手に転載されたりする危険性を学ぶことを通して、インターネット上でも自分や他者がかげがえのない人間として尊重しようとする態度を育てる。

◇関連する個別の人権課題「インターネットによる人権侵害」

2 関連する教科等について

○学級活動

内容項目（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成）

3 人権教育上の視点

（1）相手の痛みや感情を感知するとともに、身近な偏見や差別を見抜くことができる。（技能）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

グループで「たんていゲームでコバトンを見つけよう！」に取り組む。

○活動2

発信してよい情報とそうでない情報を分類する。

2 準備するもの

○人通りの多い駅前の画像（A3判以上が望ましい。）

○「たんていゲームでコバトンを見つけよう！」シート（グループ数）

○ヒントカード ～コバトンのSNSの記録より～

○ワークシート

3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「現実社会とインターネット社会とのつながり」
 - ① 人通りの多い駅前で情報を発信することを想像する。
- 活動2 「たんていゲームでコバトンを見つけよう！」
 - ① コバトンのSNS（本物ではない）から個人情報を抜き出す。
 - ② コバトンのいる場所を特定する。
- 活動3 「個人が特定される危険性についての話し合い」
 - ① コバトンのいる場所を特定できた理由と、知られると困る情報はどれかを考える。
- 活動4 「個人情報の分類」
 - ① 個人情報をインターネット上に公開してよいと思うもの、よくないと思うものに分類する。
- 活動5 「振り返り」
 - ① 活動を通して、気付いたことや考えたことを振り返る。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 自分に関する情報だけでなく、他者の情報についても安易に発信してはいけないことを認識させ、自分も他者も大切にすることが必要であることの意識を高めるようにすることが大切である。
- 個人情報の特定が現実に行われていることを理解させるとともに、特定されたことによる人権侵害についても指導する。
- インターネットに掲載する内容とは、誰に見せても大丈夫な内容であると伝え、発信できる情報を制限することについて考えさせる。
- 学級活動の他、第5学年社会科「我が国の産業と情報との関わり」や、総合的な学習の時間での情報を収集・整理・発信する学習の際に実践すると効果的である。

III 授業の実際

時間	学習活動		教師の働きかけ（・） 人権教育上の配慮（◎）
	発問（T）	児童の反応例（C）	
5分	1 学級での話し合い T 人通りの多い駅前で、個人情報をみんなに見てもらおうことができますか。 C そんなことをする人はおかしい。 C そんなことは絶対しない。		・人通りの多い駅前の写真を提示し、駅には自分の知らない人がたくさんいることを伝える。 ・様々な人がいるということは、インターネット上でも同じであることを意識させる。
	2 学習内容の確認		
	たんていゲームでコバトンを見つけよう！ インターネットと情報発信について考えよう		

35分	<p>3 グループによる「たんていゲームでコバトンを見つけよう！」</p> <p>T コバトンは、この町のどこかにいます。どこにいるのか、たんてい事務所ごとに探してみましよう。</p> <p>C 「学校の近くには温泉」だから、この辺じゃないかな？</p> <p>C 「近くの本屋さん」だから、コバトンの学校はこれだと思う。</p> <p>4 個人情報の危険性に関する協議</p> <p>T どうして、コバトンを見付けることができたのでしょうか。</p> <p>C 「学校の近くに〇〇がある」と書いてあったから。</p> <p>T ヒントカードの中で、知られると困る情報はどれでしょう。</p> <p>C 「町の中の遊園地」という情報は、住んでいる町が分かる。</p> <p>C 「学校の近くに温泉がある」という情報は、通っている学校が分かる。</p> <p>T インターネットは誰でもアクセスできるので、安易に個人情報を掲載すると、個人を特定されることがあります。</p> <p>C こわい。</p> <p>C そんなことになってしまうの？</p> <p>5 個人情報の分類 (個人でワークシートに記入)</p> <p>T ワークシートに印を記入しましょう。</p> <p>C これなら書いてもいいかな。</p> <p>C 写真は載せたくないな。</p> <p>C え、印はこんなに少なくていいの？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3～4人グループを「たんてい事務所」として、コバトンを探そうという雰囲気作りをする。 ・現在までにつかんだ情報として、たんていマップとヒントカードを渡す。 ・全体で答え合わせをする。 (正解は「キ」) <ul style="list-style-type: none"> ・知られると困る情報には、印をつけるよう指示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・たんていゲームで家を間違えたグループのように、誤って個人情報を特定し、被害を受けてしまうことの恐ろしさについても触れる。 <p>◎ワークシートについて発表させ、印をつけた項目について理由を説明するよう促す。(技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分や他者の人権が侵害される恐れがあることに気付けるよう、個人情報を掲載したことで起こることを想像させたり具体例を挙げたりする。
-----	---	--


5分	<p>6 振り返り</p> <p>T 今日の学習を振り返りましょう。</p> <p>C 今までも個人情報について考えていたつもりだったけれど、もっと気を付けていきたい。</p> <p>C 何気なく撮った写真からも場所が分かってしまうので、家が分かるような写真は載せない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 画像や個人情報が勝手に使われて困らないように、自分の情報は誰に見せても問題ない内容にするとういことを助言する。
----	---	---

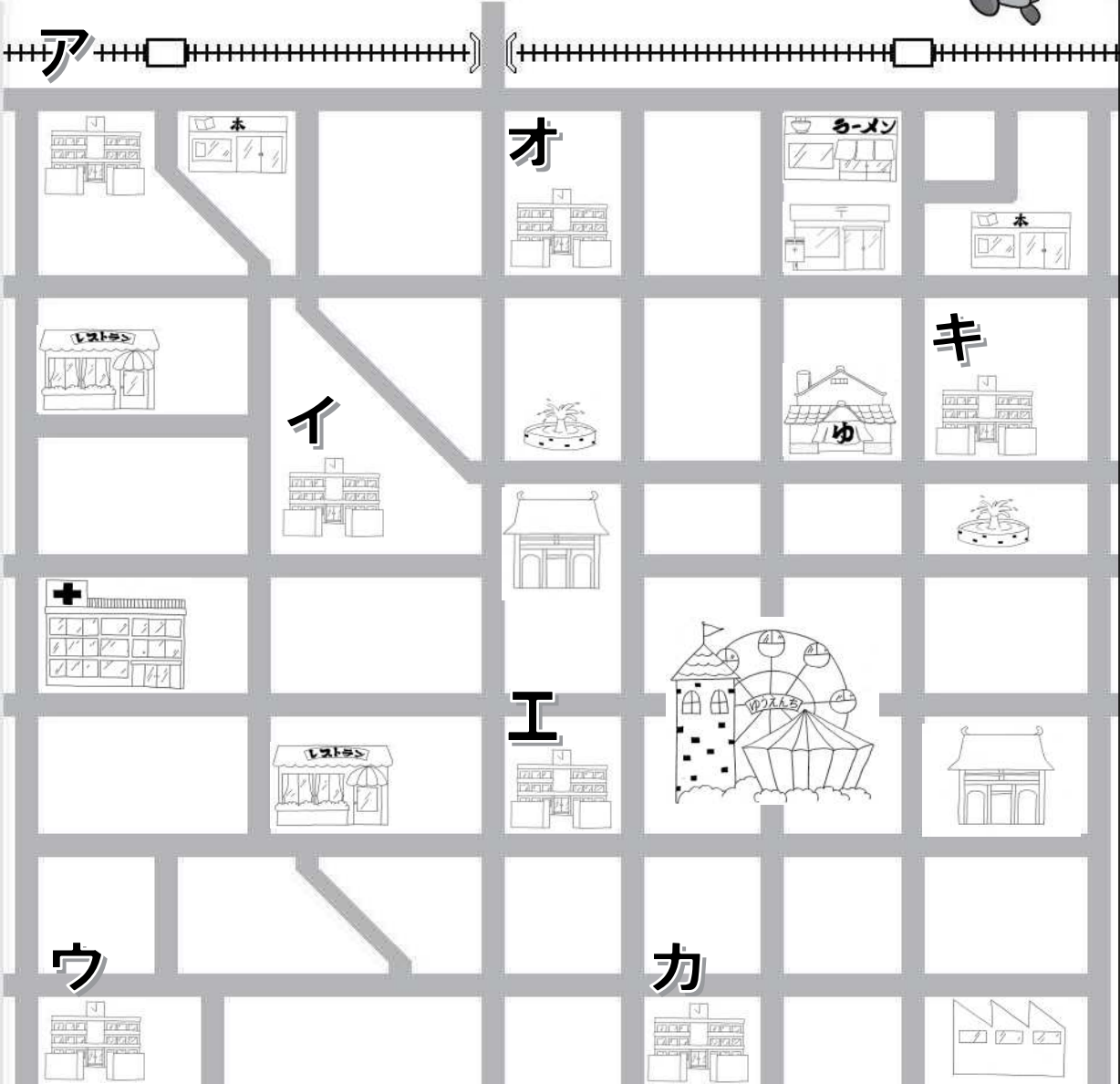
IV 資料

(1) 「たんでいゲームでコバトンを見つけよう！」シート

探偵ゲームでコバトンを見つけよう！

コバトンはどこかの学校にかくれているよ。
みんなは、見つけることができるかな？





(2) ヒントカード ～コバトンのSNSの記録より～



コバトン 4月8日
いよいよ新学期スタート！ 新しい学年になって新しい友達をつくるぞ！ トントン☆



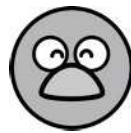
コバトン 5月5日
今日はお買い物。スーパーマーケットで買った物は、ニンジンとジャガイモ、タマネギ、お肉・・・何を作るでしょう？正解は・・・わかったかな？ そう！ カレーライス！ がんばってつくるトン☆



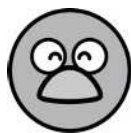
コバトン 6月12日
今日は町はずれの工場に学校から見学に行ったよ。ちょっとだけ遠いからバスに乗って出かけたけど、新しい友達と一緒に楽しかったトン☆



コバトン 8月10日
夏休み最高！！ 町の中にある遊園地で遊んだよ。楽しかったトン☆



コバトン 9月25日
今日はとなりの町までお出かけ。駅まで歩いて行く途中に自動販売機でジュースを買ったよ。おいしかったトン☆



コバトン 11月28日
今日は駅の近くの郵便局で年賀ハガキを買ったよ。今年は誰に送ろうかな・・・。



コバトン 12月30日
通っている学校の近くには温泉があります。温泉につかって、一年のつかれをゆっくりととってくるよ。トントン☆



コバトン 2月8日
駅前のラーメン屋に行ったよ。あいかわらずおいしいなあ！ トントン☆



コバトン 3月19日
もうすぐ小学校を卒業！ 近くの本屋さんに行って、中学校で使う新しい文房具を買ったよ。勉強も運動もがんばるトン☆

※このヒントカードの内容には、コバトンの場所の特定につながらない情報（地図に所在地の掲載のない情報）も混在しています。

(3) ワークシート

インターネットと情報発信について考えよう

()年()組 名前()

◆個人情報について◆

インターネット上に公開してよいと思うものに○、公開するとよくないと思うものに×、よくわからないものは△をつけましょう。

名前		最近行った場所		遊園地の キャラクターの写真	
住所		よく行くお店		部屋の窓から見える 風景写真	
生年月日		好きな キャラクター		近所のお店の写真	
電話番号		現在地		自分が写っている 写真	
通っている 学校名		部屋の中の写真		友達と写っている 写真	
SNSのIDや アカウント名		SNSの パスワード		友達のSNSの スクリーンショット	

あなたならどうする？

～ネットトラブルを解決しよう～

中学校・1～2年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「人間の尊厳・価値の尊重」）

＝【人権感覚育成のための視点】

SNSの問題点を見抜き、相手の痛みや感情を感知するとともに、自分が人を傷つけないように注意することを通して、自他ともにかげがえのない人間として尊重することができるようにする。

◇関連する個別の人権課題「インターネットによる人権侵害」

2 関連する教科等について

○技術・家庭 技術分野

内容 D 情報の技術（1）ア

3 人権教育上の視点

（1）一人一人かけがえのない存在として、自分自身や友達を大切にしようとする。（価値・態度）

（2）相手の立場を想像したり、その立場に立って自分がどうしたらよいかを考えたりすることができる。（技能）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

学習資料の設定1について、グループを作ってロールプレイを行い、言葉の受け取り方の違いなどを話し合う。

○活動2

学習資料の設定2について、当事者の気持ちや解決方法について話し合う。互いに尊重し合うには、どんなことを心掛ければよいか、気付いたことをまとめる。

2 準備するもの

- 学習資料
- ワークシート

3 アクティビティの進め方

- 活動1 「学習資料の設定1についてのロールプレイ」
 - ① 3～4人のグループを作り、「もう、いいよ」と文字で返事が来た際、その言葉がもつニュアンス等の受け取り方をグループで話し合う。
 - ② グループ内で立場を変えてロールプレイを行い、「もう、いいよ」と言葉で直接言われた時の受け取り方の違いを話し合う。
- 活動2 「学習資料の設定2についての話し合い」
 - ① インターネットの掲示板の事例について説明を聞き、どうすればよいかを考える。
 - ② SNSの問題点について話し合い、どんなことに気を付ければよいかをまとめる。
 - ③ グループごとに自分たちの考えを発表する。
- 活動3 「振り返り」
 - ① 学習を通して気付いたことや、今後SNSだけでなく日常生活に生かしたいことを振り返る。

4 アクティビティを指導する際のポイント

- ネットトラブルの解決を題材としているが、トラブルの解決方法を考えることを通して、インターネットによる人権侵害の具体的な例について触れ、匿名性に関わらず、人間の尊厳は尊重されるべきものであることへの意識を高めることが最大のねらいであることに留意する。
- いじめによる自殺事件などにあるように、SNSを介した被害は人の一生に及ぶものとなることがあり、過ちを償えないほどの被害を及ぼす危険性があることを詳しく説明したり、感想をもとに意見交換を行ったりするなど、人間の尊厳・価値の尊重について考えを深める機会とする。
- ロールプレイでは、アサーティブな自己表現（自分の意見や考え、気持ちを表現するときには、相手の気持ちにも十分配慮する）が大切であることに気付かせる。
- インターネットの掲示板の事例では、インターネット上への投稿が自分や他人に及ぼす影響や、一度発信された情報は完全に削除することが難しいことにも気付かせる。
- 例えば、新しいクラスに慣れ、生徒相互のコミュニケーションが深まってきた時期などに実施すると効果的である。

第1章 理論編
 第2章 事例編
 人間の尊厳
 生命尊重
 自己尊重の感情
 共感と連帯感
 公平・公正
 多様性の尊重・共生
 コミュニケーション
 権利と責任
 参加・参画
 第3章 資料編

Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
15分	<p>1 課題の把握</p> <p>T SNSに関するトラブルについてどんなことを知っていますか。</p> <p>S 既読スルー。</p> <p>S ネット炎上。</p> <p>2 ロールプレイ (設定1)</p> <p>T 友達から「もう、いいよ」と言われたらどう思いますか。ワークシートに記入しましょう。</p> <p>S 許してくれた。</p> <p>S 許してもらえない。</p> <p>S どっちなのか分からない。</p> <p>T ①～③の表情で、立場を変えてロールプレイを行い、感じたことをワークシートに書きましょう。</p> <p>T 感じたことについて話し合いましょう。</p> <p>S 突き放された感じ。</p> <p>S 許してもらえた気がする。</p> <p>S 真剣に言われると、相手も悪かったと思っている気がする。</p>	<p>・生徒が知っている話題やイメージを話し合わせる。</p> <p>・生徒のネットトラブルに関する関心を高めさせる。</p> <p>・ワークシート等を配布し、黒板に「もう、いいよ」と文字で板書する。</p> <p>・3～4人のグループを作り、ワークシートに書いた内容を話し合わせる。</p> <p>・同じ言葉でも人によって受け取り方が違うことに気付かせる。</p> <p>・グループ内で立場を変えてロールプレイを行わせる。</p> <p>・個人でワークシートに記入させた後、受け取り方の違いを話し合わせる。</p> <p>・情報を受け取る側の気持ちに目を向けて考えさせた後、発する側はどんなことに気を付けたらよいかを話し合わせる。</p>
25分	<p style="text-align: center;">あなたならどうする? ～ネットトラブルを解決しよう～</p> <p>3 話し合い (設定2)</p> <p>T Aさんはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>S やめてほしい。</p> <p>S 誰が書いたのだろう。</p> <p>S なんで悪口を書かれたのか、分からない。</p> <p>S 見たくなかった。知りたくなかった。</p>	<p>◎他人事ではなく、自分のこととしてとらえられるように、自分がAさんの立場であったらどう思うかと投げかける。(価値・判断)</p>

	<p>T あなたができることは何でしょう。</p> <p>S 書き込みをしている相手を突き止めて、やめさせる。</p> <p>S 掲示板の運営者に、削除してもらおうよう依頼する。</p> <p>S Aさんの相談に乗ったり励ましたりする。</p> <p>S 先生や親などの大人に相談する。</p> <p>T SNSの問題点について考え、SNSを利用するときには、どんなことに気を付ければよいか、グループで話し合い、ワークシートに記入しましょう。</p> <p>S 何気ない言葉が人を傷つけることもある。</p> <p>S 言葉遣いに気を付ける。</p> <p>S 自分の発する情報に責任をもつこと。</p> <p>4 グループごとの発表</p> <p>T グループで話し合ったことを、それぞれ発表しましょう。</p>	<p>◎Aさんの立場に立って具体的に考えることができるように、あなたになりきって現実的に実行できることを考えるように助言する。 (技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> • SNSのトラブルの場合、匿名性が強く、正論さえ通じない可能性もあることを説明する。 • 当事者のAさんにも問題があるという発想にならないように留意する。 • 他人事として表面的な話合いにならないよう、生徒の日常生活の様々な場面や状況を想定して考えるように助言する。 • SNSで一度発信した情報は、完全に削除することが難しいことを理解させる。 • 自分たちの考えとその理由を明確にして説明するように促す。
<p>10分</p>	<p>5 振り返り</p> <p>T 今日の学習を通して気付いたことや、今後SNSだけでなく日常生活に生かしたいことをワークシートに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 同じ言葉でも、相手の受け取り方は違うため、相手のことを考えて情報を発信することや、SNSに限らず、人は互いを尊重し合うことが大切であることなどを、振り返りに書いている生徒に発表させ、学級全体で共有できるようにする。

IV 資料

(1) 学習資料

あなたならどうする？①

()年()組 名前()

設定1 「ロールプレイをしてみよう」

(1) 友達とケンカをしてしまい、「ごめんね」とスマートフォンのメッセージアプリで謝りました。するとその友達から、「もう、いいよ」と返事がきました。

あなたはどう思いますか。

(2) 次の①～③の表情で「もう、いいよ」と直接、言われた時の受け取り方の違いを（ロールプレイで立場を変えて行い）話し合ひましょう。

- ① ちょっと怒った表情で言う。
- ② 少し笑いながら言う。
- ③ 真剣な表情で丁寧に言う。

設定2 「あなたならどうする？ ～ネットトラブルを解決しよう～」

インターネットの掲示板を見ていたら、自分の学校の掲示板が作られていて、さまざまな話題の中にあなたの親友であるAさんへの悪口が書き込まれていることに気付きました。

あなたは早速そのことをAさんに伝えましたが、翌日、学校に行くとAさんは学校を休んでいました。気になったあなたは、放課後、家で掲示板を見てみると、Aさんは「こんなことやめて」「削除してほしい」などと書き込んでいました。

その書き込みに対し、「みんなキモイって言ってんだよ」「うざい」「本当のことを書いて何が悪い」など、さらにひどい内容が書き込まれていました。

中にはAさんをかばい、悪口をやめさせるような書き込みもあったのですが、「いい子ぶってんじゃねーよ」「お前も同類だ」などの書き込みが続き、炎上状態になっていました。

責任を感じたあなたも悪口をやめさせる書き込みをしようと思いましたが、次は自分が悪口を書き込まれるのかと思うと、ためらってしまいました。

あなたはどうすればよい（よかった）のでしょうか？

(2) ワークシート

あなたならどうする？②

()年()組 名前()

1 設定1について

(1) 資料を読んで、あなたはどのように思いますか？

(2) ロールプレイをして、どう感じましたか？

2 設定2について

- ・SNSの問題点や、SNSを利用するときには、どんなことに気を付け
ればよいか、話し合みましょう。

3 振り返り

- ・今日の活動を通して、気付いたことや今後に生かしたいことを書きま
しょう。

「夢」をもって生きる

高等学校・2～3年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「人間の尊厳・価値の尊重」）

＝【人権感覚育成のための視点】

アメリカにおける公民権運動について考える活動を通して、他者の立場に立って考えるとともに、偏見や差別を見抜き、一人一人をかけがえのない大切な存在として、個人の価値を尊重する姿勢を養う。

2 関連する教科等について

- 総合的な学習（探究）の時間
- ※外国語（英語）での実施も可能

3 人権教育上の視点

- (1) 自他の価値を大切にしようとする。（価値・態度）
- (2) 異なった社会状況におかれている人々の気持ちを想像したり、その立場に立って考えたりすることができる。（技能）

II アクティビティーについて

1 概要

- 活動1
人種差別に関する写真を見て、想像できることをグループで意見交換する。
- 活動2
「写真についての解説」から、活動1で考えた写真の背景について理解する。
- 活動3
「キング牧師の演説（抜粋）」から、共感できたことについてグループで意見交換する。

2 準備するもの

- 写真資料（1950年代のアメリカの水飲み場、オリンピックの表彰式）
- 写真についての解説
- キング牧師の演説（抜粋）の日本語訳、その映像または音声
- ワークシート

3 アクティビティーの進め方

○活動1 「課題の把握」

- ① 写真資料①・②を見て、当時の状況や人物の気持ちを想像し、ワークシートに書く。
- ② グループで意見交換する。

○活動2 「写真資料に関する背景の確認」

- ① 「写真についての解説」を読み、写された写真の背景を確認する。

○活動3 「『キング牧師の演説』を見て（聴いて）」

- ① 「キング牧師の演説」を見たり（聴いたり）日本語訳を読んだりし、演説で語られたキング牧師の「夢」について、共感できる箇所とその理由をワークシートに書く。
- ② グループで意見交換し、全体で発表する。

○活動4 「振り返り」

- ① 授業を通して考えたこと、感じたことをワークシートに書く。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 英語のスピーチを教材とするが、外国語の理解が目的ではなく、「人間の尊厳・価値の尊重」の視点を育成することが目的であることに留意する。
- 話し合いや発表の中で、異なる立場から考えたり、差別を見抜き、個人の価値を尊重したりする姿勢などを評価し、認める声掛けなどが大切である。

Ⅲ 授業の実際

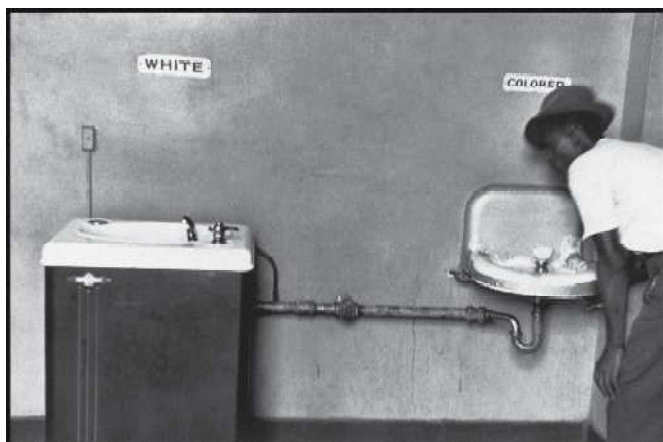
時間	学習活動		教師の働きかけ（・）
	発問（T）	生徒の反応例（S）	人権教育上の配慮（◎）
10分	1 課題の把握		
	T 写真資料①の状況や写真資料②の「拳をつきあげている2人」について、想像したことをワークシートに書きましょう。		・写真資料とワークシートを配る。 ・自由に書いてよいことを伝え、様々な角度から写真について考えられるようにする。
	S 白人（White）用とそれ以外の人種（Colored）用とに分けられている。		・机間指導を行い、2人の気持ちの面にも考えが及ぶように助言する。
	S メダルを取ったのに悲しそう。		
	S 何かを訴えようとしている。		
T グループ内で、各自が想像したことについて発表しましょう。		・正解を導き出すことが目的ではないことを伝えることで、多くの意	

		見が出て、活動が活性化するようにする。
35分	<p>2 写真資料に関する背景の確認 T 「写真についての解説」を読み、写真資料①②はどのような社会状況を反映したものか考えましょう。</p> <p>3 「キング牧師の演説」を見て（聴いて） T キング牧師の演説からどんなことを感じますか。 S 熱意を感じる。 S 気持ちがこもっている。</p> <p>T 演説中の「夢」のうち、キング牧師が最も聴衆に伝たかった「夢」はどれだと思いますか。 S 「肌の色によってではなく、人格そのものによって評価される国に住むようになる」という夢。 T なぜその「夢」を選んだのですか。その理由をワークシートに書きましょう。 S 差別は本人の人格を尊重しないことが原因だと思うから。 T グループで、各自が選んだ「夢」とその理由を発表しましょう。 T グループ内で出た意見を、代表者は発表しましょう。</p>	<p>・解説を読ませることで、写真資料①は1950年代のアメリカにおける人種差別の実態を表しており、写真資料②は人種差別に抗議した行為であったことを理解させる。</p> <p>◎キング牧師の人種差別をなくそうとする思いを感じられるようにするため、キング牧師の演説の映像を提示する（生徒の実態や教室環境により、映像のみや音声のみの提示も可）。（価値・態度）</p> <p>・「キング牧師の演説（抜粋）」を読ませながら、再度視聴させる（聴かせる）ことで、演説の内容を理解させる。</p> <p>◎キング牧師の気持ちを想像したり、その立場に立って考えたりすることができるよう、補助発問をする。（技能）</p> <p>◎自他の意見を大切にしようとすることができるよう、グループでの意見交換の際は、他者の意見を否定せず、最後まで聞くように指示する。（価値・態度）</p>
5分	<p>4 振り返り T 今日の学習を通して考えたこと、感じたことをワークシートにまとめましょう。</p>	<p>・ワークシートにまとめさせることで、今日の学習を振り返らせる。</p>

IV 資料

(1) 写真資料

① 1950年代のアメリカの水飲み場



North Carolina, 1950 © Elliott Erwit / Magnum Photos

② オリンピックの表彰式
(1968年)

メキシコオリンピックの表彰式で、黒い手袋をはめた2人の黒人選手が、拳をつきあげて頭を垂れている写真。

(1968年10月17日)

[著作権により掲載しません]

(2) 写真についての解説

〔写真①〕

アメリカ合衆国では長い間、人種差別が行われてきました。黒人差別も激しく、教育・住居・雇用ばかりでなく、選挙・司法などの分野でも公然と白人との差別が存在していました。

そのため、1950年代には、人種差別をなくし、黒人が白人と同等の権利を求める公民権運動が盛んになっていきました。

1955年には、バスの座席が人種ごとに設定され黒人を隔離・差別していることに抗議し、アラバマ州モンゴメリー市で黒人によるバスのボイコットが occurred。これがバス・ボイコット運動です。

このバスのボイコットは1年間にわたって続けられ、ついに車内における差別が廃止されました。

この運動を指導し勝利へと導いたのが、26歳のキング牧師です。彼はしだいに公民権運動の指導者となっていました。彼は常に非暴力の方法で活動し、その人格と弁舌で大いに親しまれました。

〔写真②〕

1968年の第19回メキシコシティ大会、男子陸上200メートル走の表彰式でのことです。1位、3位はアメリカの選手でしたが、国旗の掲揚と国歌の演奏がはじまると、表彰台の上のトミー・スミスとジョン・カルロス〔※1〕は、頭を垂れ、黒手袋をつけた拳を空につきあげました。

この静かな怒りのポーズは、アメリカ国内の人種差別への抗議でした。〔※2〕1960年代のアメリカは、ベトナム戦争に反対する運動と黒人差別撤廃をめざす公民権運動が高まるなか、この年の4月には公民権運動の指導者キング牧師が暗殺され、緊張が続いていました。

当時のアメリカには、まだまだひどい人種差別が残っていました。スミスとカルロスは、オリンピックでかならず表彰台にのぼり、世界の目が集まる場で差別撤廃を訴えようと決めたのです。

スタンドには大勢のアメリカ人観光客も来ていました。演奏が終わり、ふたりが表彰台から降りると、ブーイングと罵声が飛び、ゴミが投げ込まれました。IOCは「政治的パフォーマンスをおこなった」と非難し、彼らはアメリカ代表チームから除名され、オリンピック村からも追放されました。帰国後はマスコミの激しい非難を受け、さらには尾行や電話の盗聴にも苦しめられつづけました。

しかし、彼らを支持し、連帯を示した選手もいます。400メートル走でアメリカは1位から3位までを独占しましたが、3人の黒人選手は黒いベレー帽をつけて表彰台にのぼりました。

※1… ふたりともアフリカ系アメリカ人。カリフォルニアのサンノゼ州立大学で黒人教授ハリー・エドワーズに学んだ。サンノゼ大学には表彰台で抗議するふたりの銅像がある。

2位のオーストラリアのピーター・ノーマンも彼らの行動を支持し、エドワーズ教授が提唱した「人間の権利のためのオリンピック」というバッジを胸に付け表彰台にのぼった。オーストラリアもまた、先住民アボリジナルなど人種・民族問題をかかえていた。

※2… 当時、アメリカのオリンピック委員会に黒人はひとりもいなかった。

「これならわかる オリンピックの歴史 Q & A」(大月書店)より引用

(3) キング牧師の演説(抜粋)

「I Have a Dream (私には夢がある)」

キング牧師は、1963年8月、ワシントン大行進という大規模なデモ行進を成功させ、20万人の群衆の前で後世に残る感動的な演説を行った。

みなさん、私は今皆さんに言いたい。

私には夢があります。いつの日か、この国の国民が立ち上がり『全ての人は平等に創造されていることを自明の真理とする』*という、この国の信条のもとに生きていけるようになるという夢が。

私には夢があります。いつの日か、ジョージアの赤土の丘の上で、かつての奴隷の子孫たちと、奴隷の所有者の子孫たちとが、兄弟として同じテーブルに着くことができるようになるという夢が。

私には夢があります。いつの日か、不正と抑圧で荒廃したあのミシシッピでさえも、自由と正義のオアシスに変わってくれるという夢が。

私には夢があります。いつの日か、私の幼い4人の子供たちが、肌の色によってではなく、人格そのものによって評価される国に住むようになる夢が。

私には夢があります。いつの日か、悪意に満ちた人種差別者のいる、州権の優位や連邦法を拒否している知事のいるアラバマでさえ、黒人の少年少女たちと、白人の少年少女たちが、互いに手を結びあい、兄弟や姉妹として一緒に仕事ができるようになるという夢が。

私には夢があります。いつの日かあらゆる谷が高められ、あらゆる丘や山は低められ、デコボコの所は平らにされ、曲がりくねった道はまっすぐにされ、神の栄光が啓示され、生きとし生けるものが、その栄光を共に見るようになるという夢が。

それが私たちの願いなのです。

* All men are created equal. (全て人は平等につくられている)リンカーン大統領の名言。

(4) ワークシート

「夢」をもって生きる

()年()組 氏名()

1 写真資料を見て……

- ①に写っている状況について、想像したことを自由に書き出してみましよう。

- ②に写っている「拳をつきあげている2人」について、想像したことを自由に書き出してみましよう。

2 キング牧師が一番伝えたかった「夢」とは？

- 「夢」とその理由

- 他の人の意見

3 今日の学習を通して考えたこと、感じたことをまとめてみましょう。